

やすみやま 国道185号 休山トンネル歩車道分離壁

受賞機関 国土交通省中国地方整備局広島国道事務所

事業概要

国道185号の休山新道は、通称「呉越峠くれごえとうげ」における交通の安全と渋滞緩和を目的として、平成14年3月に延長2.6kmを暫定2車線で供用している。この休山新道のうち1.7kmは「休山トンネル」である。



供用後は休山新道の通過時間が呉越峠の1/4に短縮するなど大きな効果をもたらしたが、予測の1.6倍の交通量があり、トンネル出口付近の信号交差点からの渋滞がトンネル内まで連なり、車両の排気ガスや騒音が発生し、トンネル内の歩道環境の改善が求められていた。

そこで、歩道環境改善を目的に既存換気設備の運用や改修も含め、整備効果・ランニングコスト・工期などの検討の結果、歩道と車道を仕切る「歩車道分離壁」を設置したものである。

施設概要

休山新道の概要

区間	呉市本通り～呉市阿賀中央
延長	2.6km（うち休山トンネル1.7km）
実測交通量	37,600台/日（平成14年）
道路規格	第4種1級
設計速度	60km/h

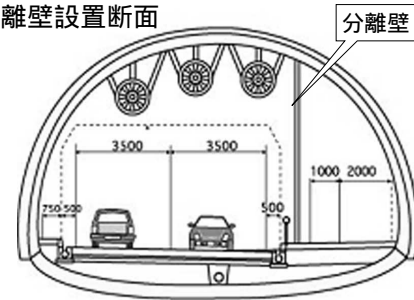
分離壁設置に伴う歩道施設整備概要

施設名	設置数	備考
照明設備		
歩道用照明	135基	新設
その他設備		
歩道用監視カメラ	10台	新設
歩道用モニター	6面	新設

*) 車道部の照明施設、無線施設、車道監視カメラ等の移設を実施している。

総工費（分離壁設置に関連する全て）
約8億円

分離壁設置断面



事業の整備効果

歩行空間の環境改善

【窒素酸化物等が約7割以上低減】

項目	単位	改善前	改善後	低下率
一酸化炭素(CO)	ppm	20.4	3.6	82%
窒素酸化物(NO)	ppm	1.443	0.207	86%
“(NO ₂)	ppm	0.196	0.045	77%
浮遊粒子状物質(SPM)	mg/m ³	0.224	0.072	68%

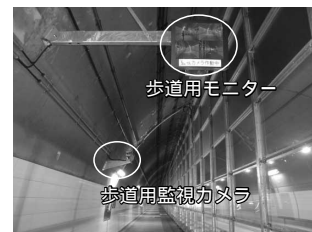
【騒音が16dB低減】

項目	単位	改善前	改善後	低下率
騒音レベル	dB	86	70	19%

歩道利用者が1.3倍に増加し、市街地間の交流促進が図られた。

トンネル利用者のアンケート結果

全員が「満足」「やや満足している」と回答。



おわりに

親しみを持って利用していただくため歩行空間の愛称を募集したところ、分離壁の関心が高く多くの応募をいただき、愛称は「休山悠路やすみやまゆうろ」と決定した。利用者アンケートでは歩道環境の改善について「満足」と大変好評となっている。

しかし、トンネルという条件から火災や防犯面を考慮し壁面にガラスを採用しており、清掃の方法や頻度について検討しているところである。また、防犯面での安全性を考慮してCCTVや歩道用モニターを設置している。

賛助会員 ㈱東芝